

平成 28 年度入学者

平成 29 年 3 月 31 日
教養学部教務課前期課程

『履修の手引き』記載内容の変更について

『履修の手引き』記載内容について、下記のとおり変更となります。

記

II 各科目の履修方法

2. 基礎科目の履修

(7) 自然科学 基礎実験 (『履修の手引き』 p. 17)

対象科類	取得すべき 最低単位数	科目毎の 単位数	科目毎の 開講形態	開講ターム			
				1 A1	1 A2	2 S1	2 S2
理科各類	3	1	ターム制 週2コマ	○ (必修)	○ (必修)	○ (必修)	○ (任意選択)

基礎実験は理科生の必修で、各科目 1 単位の科目群である。1 A1・1 A2・2 S1・~~2 S2~~
タームにクラス指定で2S2タームに開講される。そのうち、1 A1ターム・1 A2ター
ム・2 S1タームはクラス指定で開講され必ず履修する必要がある。2 S2タームの履修
は任意となるが、単位取得した場合は「基礎科目・展開科目・総合科目・主題科目の最
低単位数の他に取得しなければならない単位数」(p. 27)に含めること。

IV 定期試験と成績の評価

3. 成績評価が「不可」または「欠席」となった場合

(2) 追試験 (『履修の手引き』 p. 38)

4) 注意事項

- イ) 他クラス聴講生 (p. 39) 及び文科生で要求科目として履修している場合もクラ
ス指定の学生に準じて扱う。

(中略)

- ニ) 原則として、S1ターム・S2ターム・Sセメスター開講科目(「物性化学」、「生
命科学」(理科一類生対象)を除く)の追試験は、次のA1ターム(Aセメスター)
開始後に行う。「物性化学」、「生命科学」(理科一類生対象)の追試験はS2ターム
期間中に行う。A1ターム・A2ターム・Aセメスター開講科目の追試験は、当該科
目の開講された年度内に行う。ただし、「微分積分学」、「線型代数学」の受験資格

Aに該当する1年生及び受験資格Cによる追試験は、次のS1ターム（Sセメスター）開始後に行う。

4. 留年・降年

(1) 留年

② 2年次終了時の留年（『履修の手引き』 p. 43）

1) 留年等で修業年限の2年間に満たしているものを除き（ただし1・2年次の各学期にそれぞれ1度でも在学していること）、2A1ターム・2Aセメスター以降に休学した者は、自動的に留年となる。

以上